

平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月30日

上場会社名 株式会社UMNファーマ 上場取引所 東  
 コード番号 4585 URL http://www.umnpharma.com/  
 代表者 (役職名)代表取締役会長兼社長 (氏名)平野 達義  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役財務部長 (氏名)橋本 裕之 (TEL)045(263)9200  
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家、アナリスト向け)

1. 平成26年12月期第2四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年6月30日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	1,078	—	△1,796	—	△1,967	—	△1,677	—
25年12月期第2四半期	24	—	△1,497	—	△1,641	—	△1,166	—

(注) 包括利益 26年12月期第2四半期 △1,722百万円(—%) 25年12月期第2四半期 △1,698百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第2四半期	△198.63	—
25年12月期第2四半期	△158.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第2四半期	13,081	2,549	19.4
25年12月期	19,001	4,253	22.1

(参考) 自己資本 26年12月期第2四半期 2,543百万円 25年12月期 4,202百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年12月期	—	0.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,186	2,241.0	△3,210	—	△3,424	—	△2,436	—	△289.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 一社(社名) 一、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年12月期2Q	8,451,400株	25年12月期	8,425,900株
② 期末自己株式数	50株	25年12月期	50株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	8,444,643株	25年12月期2Q	7,353,741株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の金融政策や経済対策の効果を背景に、企業業績や雇用情勢の改善など、景気は緩やかな回復傾向が見られました。一方で、4月に施行された消費税率の引き上げに伴う駆け込み需要に対する反動、新興国の経済成長鈍化懸念等、先行きは不透明な状況にあります。

我が国医薬品業界においては、医療費抑制策により医療用医薬品市場の伸びが鈍化しており、グローバル医薬品開発による世界市場での展開が一層重要になっております。

このような経営環境の中にあつて、当社グループは、「UMN-0502」（組換えインフルエンザHAワクチン（多価）、以下、「UMN-0502」といいます。）、「UMN-0501」（組換えインフルエンザHAワクチン（H5N1）、以下、「UMN-0501」といいます。）、世界保健機関（World Health Organization：WHO）がH5N1とともにパンデミック発生の可能性を指摘しているH9N2亜型に対する「UMN-0901」（組換えインフルエンザHAワクチン（H9N2）、以下、「UMN-0901」といいます。）、食中毒の主な原因ウイルスであるノロウイルス及びロタウイルスに対する「UMN-2003」（組換えノロウイルスVLP+組換えロタウイルスVP6混合ワクチン）及びノロウイルスに対する「UMN-2002」（組換えノロウイルスVLP単独ワクチン、以下、「UMN-2002」といいます。）の開発に資源を重点的に配分し研究開発を進めてまいりました。なお、上記開発パイプラインのうち、国内においては、UMN-0502及びUMN-0501に関しアステラス製薬株式会社と提携し開発を進めており、韓国においては、UMN-0502、UMN-0501及びUMN-0901に関し日東製薬株式会社と提携し開発を進めております。

UMN-0502については、国内においてアステラス製薬株式会社と共同で実施した第Ⅲ相臨床試験において主要評価項目を達成、また、当社連結子会社である株式会社UNIGEN（以下、「株式会社UNIGEN」といいます。）の岐阜工場において、UMN-0502原薬の性能適格性評価（Performance Qualification）を完了したことを受け、平成26年5月にアステラス製薬株式会社が、インフルエンザワクチンの予防の効能・効果で、厚生労働省に製造販売承認申請を行いました。

岐阜工場では、UMN-0502の製造販売承認申請を受けて、プロセスバリデーション（Process Validation）工程を開始しております。なお、岐阜工場は、平成24年2月に経済産業省「平成23年度国内立地推進事業費補助金」一次公募対象事業に採択されておりましたが、平成26年2月に同省より2,213,799千円の補助金を收受しております。

UMN-2002については、平成26年2月に第一三共株式会社と共同研究契約を締結いたしました。本共同研究契約に基づき、第一三共株式会社の新規投与デバイスを用いて、UMN-2002の開発可能性を確認することを目的とした基礎研究を継続しております。

バイオ医薬品受託製造（Biopharmaceutical Contract Manufacturing Organization）事業においては、国立感染症研究所より受託し製造しておりました複数の新規ワクチン候補抗原を納入いたしました。

一方、財務面においては、株式会社UNIGENが、平成26年3月にシンジケートローン4,845,000千円の返済を行い、有利子負債の圧縮を行うとともに、平成26年6月にシンジケートローン6,490,000千円について、リファイナンスの実行を完了いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、1,078,888千円（前年同四半期4,334.1%増）となりました。一方、提携先と各開発パイプラインの研究開発、岐阜工場での試験製造を積極的に進めたことにより、営業損失は1,796,953千円（前年同四半期は1,497,687千円の営業損失）、経常損失は1,967,850千円（前年同四半期は1,641,025千円の経常損失）、四半期純損失は1,677,314千円（前年同四半期は1,166,159千円の四半期純損失）となりました。

なお、第1四半期連結累計期間において1,870千円の為替差損を営業外費用に計上しておりましたが、為替相場の変動により、第2四半期連結会計期間において655千円の為替差益が発生したため、当第2四半期連結累計期間においては1,215千円の為替差損を営業外費用に計上しております。また、第2四半期連結会計期間において、シンジケートローンに係る支払手数料49,625千円を営業外費用に計上しております。

また、当社グループは、医療用医薬品の研究開発及びこれに関連する事業の単一セグメントであるため、セグメント別の業績に関する記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して総資産が5,920,583千円減少し、負債が4,216,856千円減少しました。また、純資産は1,703,726千円減少しました。

総資産の減少5,920,583千円は、流動資産の減少3,025,319千円及び固定資産の減少2,895,263千円によるものであります。

流動資産の減少3,025,319千円の主なものは、現金及び預金の減少2,655,423千円であります。また、固定資産の減少2,895,263千円の主なものは、建物及び構築物の減少686,468千円、機械及び装置の減少1,987,880千円であります。

負債の減少4,216,856千円は、流動負債の減少1,911,182千円及び固定負債の減少2,305,673千円によるものであります。

流動負債の減少1,911,182千円の主なものは、未払金の増加711,384千円及び短期借入金の減少2,619,300千円であります。また、固定負債の減少2,305,673千円の主なものは、長期借入金の減少2,253,750千円であります。

純資産の減少1,703,726千円の主なものは、四半期純損失1,677,314千円であります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ2,655,423千円減少し、1,612,234千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純損失1,720,450千円を計上しましたが、補助金の受取額2,216,799千円等により、2,280,564千円の収入(前年同期は2,195,138千円の支出)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によりキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出2,228千円、無形固定資産の取得による支出3,096千円等により、4,988千円の支出(前年同期は3,013,324千円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入れによる収入1,870,000千円、短期借入金の返済による支出1,884,300千円及び長期借入金の返済による支出4,888,750千円等により、4,930,999千円の支出(前年同期は4,762,283千円の収入)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年12月期の連結業績予想につきましては、「平成25年12月期 決算短信[日本基準](連結)」(平成26年2月14日付)で公表した数値に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,267,657	1,612,234
仕掛品	514	—
原材料及び貯蔵品	106,081	421,705
前渡金	72,871	185,236
その他	949,258	151,889
流動資産合計	5,396,385	2,371,065
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,054,598	5,368,129
機械及び装置(純額)	5,968,524	3,980,644
工具、器具及び備品(純額)	172,679	131,481
リース資産(純額)	629,932	577,066
建設仮勘定	1,050	1,050
有形固定資産合計	12,826,784	10,058,371
無形固定資産	411,379	283,658
投資その他の資産	367,244	368,114
固定資産合計	13,605,408	10,710,145
資産合計	19,001,793	13,081,210
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	1,484,300	1,500,000
1年内返済予定の長期借入金	2,710,000	75,000
未払金	382,348	1,093,733
未払法人税等	29,631	20,260
その他	121,793	127,896
流動負債合計	4,728,073	2,816,890
固定負債		
長期借入金	8,875,000	6,621,250
長期預り金	340,332	340,332
資産除去債務	168,099	169,674
その他	636,797	583,299
固定負債合計	10,020,229	7,714,555
負債合計	14,748,302	10,531,445
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,956,361	6,965,636
資本剰余金	6,625,361	6,634,636
利益剰余金	△9,379,249	△11,056,563
自己株式	△197	△197
株主資本合計	4,202,277	2,543,512
新株予約権	6,251	6,251
少数株主持分	44,962	—
純資産合計	4,253,491	2,549,764
負債純資産合計	19,001,793	13,081,210

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
売上高	24,331	1,078,888
売上原価	4,104	166,913
売上総利益	20,227	911,975
販売費及び一般管理費	1,517,915	2,708,928
営業損失(△)	△1,497,687	△1,796,953
営業外収益		
受取利息	553	291
為替差益	990	—
その他	1,293	304
営業外収益合計	2,837	595
営業外費用		
支払利息	104,148	95,997
株式交付費	6,112	94
為替差損	—	1,215
支払手数料	35,914	74,185
営業外費用合計	146,174	171,493
経常損失(△)	△1,641,025	△1,967,850
特別利益		
補助金収入	—	2,213,799
特別利益合計	—	2,213,799
特別損失		
固定資産圧縮損	—	1,966,398
特別損失合計	—	1,966,398
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,641,025	△1,720,450
法人税、住民税及び事業税	16,886	3,197
法人税等調整額	53,028	△1,370
法人税等合計	69,915	1,826
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,710,940	△1,722,276
少数株主損失(△)	△544,781	△44,962
四半期純損失(△)	△1,166,159	△1,677,314

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,710,940	△1,722,276
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,915	—
その他の包括利益合計	12,915	—
四半期包括利益	△1,698,025	△1,722,276
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,153,243	△1,677,314
少数株主に係る四半期包括利益	△544,781	△44,962

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,641,025	△1,720,450
減価償却費	108,311	935,876
受取利息	△553	△291
支払利息	104,148	95,997
支払手数料	35,914	74,185
株式交付費	6,112	94
固定資産圧縮損	—	1,966,398
助成金収入	—	△2,213,799
売上債権の増減額(△は増加)	108,225	—
預り金の増減額(△は減少)	—	△3,019
その他	△765,446	1,084,061
小計	△2,044,314	219,055
利息の受取額	488	364
利息の支払額	△104,897	△95,320
補助金の受取額	—	2,216,799
法人税等の支払額	△19,695	△6,068
その他	△26,718	△54,267
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,195,138	2,280,564
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,991,735	△2,228
無形固定資産の取得による支出	△3,800	△3,096
敷金の回収による収入	—	336
敷金の差入による支出	△18,292	—
その他	504	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,013,324	△4,988
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	650,000	1,870,000
短期借入金の返済による支出	—	△1,884,300
長期借入れによる収入	3,025,000	—
長期借入金の返済による支出	△12,500	△4,888,750
リース債務の返済による支出	△45,507	△46,404
株式の発行による収入	651,487	18,455
少数株主からの払込みによる収入	494,000	—
その他	△197	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,762,283	△4,930,999
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△446,180	△2,655,423
現金及び現金同等物の期首残高	3,882,943	4,267,657
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,436,763	1,612,234

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

第2四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)

当社グループは、医療用医薬品の研究開発及びこれに関連する事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。